

掲示板のことば

超えて
いる
思いを
事実は

2017. 07

真宗大谷派の僧侶になるためには、真宗大谷派「教師」資格が必要になります。そのためには、宗門の大学である大谷大学を卒業するか、それに準ずる学校や学院を卒業する人が、多いようです。

私は、東京で大学を卒業したのちに、京都にある大谷専修学院という全寮制の学校に1年間身を置いて、「教師」資格を取得しました。

その学院には様々なルールがあって、携帯電話はまだありませんでしたが、音楽を聴く機器の持ち込みは禁止、もちろんテレビも禁止、いま思えば、そのおかげで(?)、たくさんの本を読むことができました。

まだ若かったので、そんな状況が嫌になったときには、よく、学院の先生方に不平・不満をぶつけていました。

そんなあるとき、学院長の竹中智秀という先生に、「不満を言っている、事実は、ここに居るのです」「いろいろな思いがあっても、いま、ここに、いる、という事実は、認めざるを得ませんね」と言われました。

事実を受け入れたくないので、あれこれと思いをぶつけてみますが、事実は思いを超えているのですね。いやなら帰ればいいのです。帰ることもできずに、学院に身を置いているということが私の事実だったのです。

でも、事実を引き受けて生きていくことは、難しいことですね。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹